

「PlayBackMail」で、 メールのセキュリティ強化と 運用の最適化へ

東京都豊島区は従来、メールのセキュリティ対策について職員それぞれが細心の注意を払うことを徹底し対応していた。また、メール振り分けシステムの運用にも課題を抱えていた。それらを解決すべく、CSK Winテクノロジーの「PlayBackMail」を導入。送信保留や自動ZIP暗号化などの機能によって、セキュリティのさらなる強化を実現した。同時に、LGWANの振り分けシステムも含めた運用の最適化も達成し、トラブル時に素早く対応できる体制も整備している。

メールのセキュリティや運用の さらなる最適化に取り組む

情報漏えい防止をはじめとするセキュリティ対策は企業や官公庁を問わず、不可欠であることは言うまでもない。その一環として、今日、メールセキュリティの重要性はますます高まっている。メールを用いた業務の生産性を保ちつつ、強固なセキュリティの確保が求められている。

東京都豊島区では、公共サービス提供などの業務において、職員一人につきパソコン1台の体制でメールを日々活用している。その中で、情報管理課をけん引役に、メールのセキュリティのさらなる強化、および運用最適化を進めている。

豊島区 政策経営部 情報管理課長 高橋邦夫氏は「誤送信の防止や添付ファイル暗号化による情報漏えい防止など、メールのセキュリティ向上への取り組みは従来、職員一人ひとりの注意の徹底によって実現していました。そのような個人任せの状況から一歩進め、システムとしてのメールセキュリティ対策を行う必要性を常々感じていました」と振り返る。

また、同区では、メールやWeb閲覧について、LGWAN（総合行政ネットワーク）とインターネットに振り分けるシステムを導入している。同システムは従来、Linuxベースで構築していたが、その運用に限界を感じていた。同システムの構築・運用は外部に委託しており、ブラックボックス化していたためである。

豊島区 政策経営部 情報管理課 庁内LANグループ 小林朝子氏は「トラブル発生時



豊島区の新庁舎。区民サービス提供や防災の拠点をはじめ、文化創造都市や環境都市、教育都市などのシンボルとしての役割を果たす。

やメンテナンスが必要になった際、私たちではわからない部分が多々あり、どうしても対応が遅れがちになっていました。メールサーバーはWindowsベースで構築していたので、振り分けも同じWindowsベースのもと、私たちの手で運用できる仕組みを望んでいました」と話す。

「PlayBackMail」により LGWANに対応した メール振り分けと誤送信対策を実施

これまで以上にメールのセキュリティを強化し、なおかつ、振り分けシステムの運用を最適化するには、システムに抜本的な解決策が必要となる——そう考えた高橋氏らは2009年春、さまざまな課題を解決するソリューションとして、CSK Winテクノロジーの「PlayBackMail」の導入を決断したのである。

高橋氏は同製品について、LGWANに対応したメール振り分け、および誤送信対策



豊島区

東京23区の北西部に位置。2012年に区政80周年を迎えた。また、同年には、生活の安全と健康を推進するまちづくり活動として、WHO（世界保健機関）が推進する「セーフコミュニティ」の国際認証を全国で5番目、東京都では初めて認証を受けている。新庁舎は区民サービス提供や防災の拠点になるとともに、文化創造都市、環境都市、福祉増進都市、生涯健康都市、教育都市のシンボルとして、都市づくりの先導役を果たす。

- 所在地／東京都豊島区東池袋1-18-1
- 人口／269,136人（平成24年7月1日現在）
- 職員数／2,042人（平成23年度）
- URL／www.city.toshima.lg.jp



豊島区政策経営部
情報管理課長
高橋 邦夫 氏

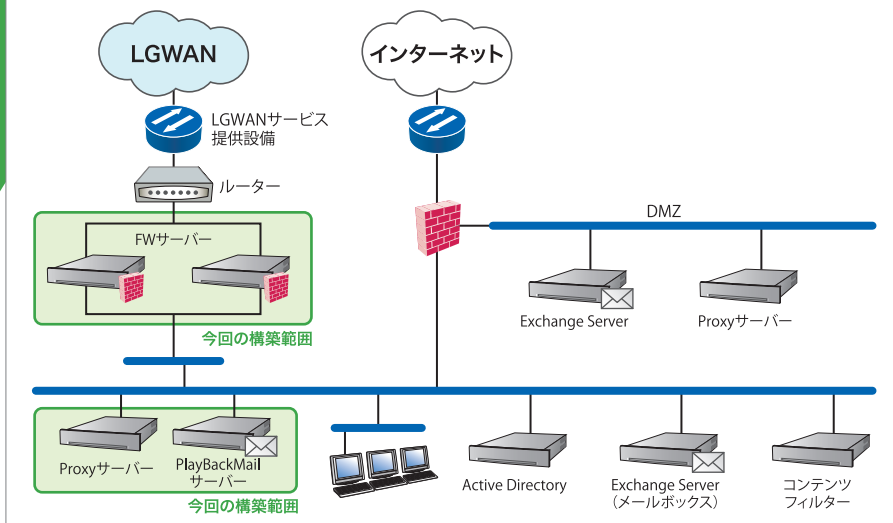


豊島区政策経営部
情報管理課 庁内LANグループリーダー
木本 隆 氏



豊島区政策経営部
情報管理課 庁内LANグループ
小林 朝子 氏

■豊島区様のシステム概要



をはじめとするセキュリティといった必要とする機能がオールインワンで備わっていることに加え、「PlayBackMailのセキュリティ機能は、私たちが一括設定できるものがある一方で、インターフェースの部分などは職員自身で個別に設定できるなど、柔軟に運用できるところがよいですね」と評価する。

また、小林氏は同製品のユーザビリティの高さに関して「Microsoft Outlookのアドオンとして導入できるので、職員が普段見慣れた画面上で自然に利用できます。その上、メニューなどはすべて、わかりやすく日本語で記されているため、誰でも迷うことなく使えますね」と語る。

2009年9月に導入を決定してシステム構築を開始し、3カ月後の同年12月にカットオーバーした。豊島区 政策経営部 情報管理課 庁内LANグループリーダー 木本 隆氏は構築から運用までを含めたCSK Winテクノロジーのスタッフのサポートに対して「付属

のマニュアルに加え、私たち豊島区情報管理課の意向に沿ったマニュアル作成支援をいただきました。それに、質問などに対するレスポンスも早くて助かりますね」と語る。

送信保留や自動ZIP暗号化などでセキュリティを大幅に強化

豊島区はPlayBackMailの導入によって、これまでのさまざまな課題を解決できた。木本氏はメール誤送信対策について「宛先などを誤った状態でメールソフトから送信した後でも、PlayBackMailの送信保留機能によって取り戻せるので、うっかりミスによる誤送信のリスクを最小化できるようになりました。その上、同報メールは宛先を自動でToからBccに変更できる機能によって、職員が意識することなく高いセキュリティを得られています」と強調する。

併せて、添付ファイルを自動的に

ZIP暗号化する機能も有効活用している。高橋氏はその効果を「以前は職員がいちいち手作業でZIP暗号化しなければならなかったため、毎回3〜4分ほどの時間がかかっていました。現在はPlayBackMailのおかげで自動化されたので、その手間が一切不要になり、大幅に業務を効率化できました」と話す。

そして、メールシステムの運用も最適化できた。運用管理の実務を担当する小林氏は「セキュリティも振り分け機能も、SE並みの専門知識やノウハウがなくても設定できるなど、簡単に管理できます。そのおかげもあって、もしトラブルが起きても、自分たちで素早く対応できるようになりました」と語る。

豊島区は2012年から新庁舎の建築を開始しており、2015年春に移転する予定だ。それに合わせて、ICT面でのさらなる充実を図っていく。「例えば、モバイル環境によって職員が場所や時間に制限されずに業務を行えるようにするなど、ICTの有効活用を今まで以上に促進することで、区民の皆さまのライフスタイルをより向上していきます。その中で必要となるセキュリティは、PlayBackMailをはじめ適切なソリューションを利用して強化します」と高橋氏は展望を述べる。



豊島区様の取材風景。PlayBackMailの導入効果を広く語っていただきました。

PlayBack Mail

PlayBackMail <http://www.playbackmail.com/>

「PlayBackMail」は宛先間違いや添付ファイル間違い等の「うっかりミス」をなくすることができる、安全で安心、便利なメール誤送信防止サービスです。メールの送信保留機能や添付ファイルのZIP暗号化機能、Bccへの強制書き換え機能など、ユーザーの負担を軽減し、メールの誤送信対策を実現する製品です。さらにクラウド版を1ユーザー150円/月でご利用いただける「PlayBackMail Online (プレイバックメール オンライン)」もご提供しています。

● 担当者紹介



株式会社CSK Winテクノロジー
第一開発部
第一開発課
チームリーダー
堀田 光洋 氏



株式会社CSK Winテクノロジー
第一開発部
第一開発課
青木 豊 氏



株式会社CSK Winテクノロジー
ソリューション営業部
営業課
主任
柴崎 友美 氏